

臨時農業生産情報

(風雪及び大雪に対する技術対策)

平成29年1月25日

「攻めの農林水産業」推進中南地方本部

中南地域においては、1月24日以降、急激に降雪量が多くなっており、1月25日9時現在、弘前アメダスの最大積雪深は83cmになっています。

また、来週も冬型の気圧配置が強まり再び雪となる見込みです。今後も気象情報に留意し、りんご等果樹及び農業用パイプハウスの雪害防止対策を実施して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

1 共通事項

- (1) 倒壊の恐れのある施設には近づかない。
- (2) ハウス等の雪下ろしを行う際には複数人で作業する。

2 りんご等果樹

- (1) 雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしや雪に埋もれた枝先の抜き上げを行う。
- (2) 剪定予定の枝で折れそうな場合は、早めに切り取り、直ちに切り口にバッチレートを塗布する
- (3) 指導に当たっては、平成28年3月に作成・配布した「りんご園雪害軽減・復旧技術マニュアル」等を活用する。



中南地域県民局
地域農林水産部



(地独) 青森県産業技術
センターりんご研究所

3 野菜・花き等のハウス

- (1) ビニールハウスでは、倒壊したり被覆資材が飛散しないよう施設の点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
- (2) ハウス内の暖房で落雪を促すとともに、側面に積もった雪は速やかに除排雪する。
- (3) ハウスが破損した場合は、速やかに補修し保温に努める。